

11 月 20 日：VN 指数はわずかに反発 (VN-Index +0.22%)

- サコムバンク、バンティンファットグループの問題によって、投資家心理が悪化しており、指数は下落して取引を開始した。
- その後は徐々に買いが入り、指数は戻す展開となった。
- 午後に入っても買いが続き、指数はわずかに上昇して取引を終えた。
- 金融サービス、不動産、素材の上昇が相場を支えた。
- 203 銘柄が上昇、314 銘柄が下落、98 銘柄は変わらずだった。
- 流動性は 43.7%減少し、売買代金は 16.9 兆ドンだった。

VN30 指数は下落(VN-30 -0.06%)

- 大型株で構成する VN30 指数は、上昇が 10 銘柄、下落が 14 銘柄、6 銘柄は変わらずだった。
- SSI (+2.86%) や GVR (+2.83%) の上昇が目立った。
- 半面、MWG (-2.05%) が大きく売られた。

セクター・個別株の動き

- HBC (+2.39%) は増資の承認を受けたことが好感された。さらに、2 つの外国人投資家が私募に参加することを明らかにした。調達資金は負債の返済に充てられる
- SSB (+0.00%) の経営陣は 2200 万株の自社株売却の登録をしたことが嫌気されもみ合いとなった。
- 外国人投資家は 4,660 億ドンの買い越しとなった。FUEVFNVD に買いが集まっていた。一方、FUESSVFL は大きく売り越された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。